

いばらき

第340号

雇用ニュース

8

【2010】



「帆引き船（霞ヶ浦）」 いばらきフォトダウンロードより

新規高校卒業者求人受付中！

おもな内容 CONTENTS

茨城労働局長着任のあいさつ	2
茨城労働局職業安定部長着任のあいさつ	3
県内の雇用情勢	4
9月は「障害者雇用支援月間」です	5
障害のある方を対象とした「就職面接会」を開催します	5
安全衛生にかかる優良事業場表彰「旭化成メタルズ」奨励賞受賞	6
「茨城県産業安全衛生大会」10月5日開催	6
新卒者体験雇用事業のご案内	7
精神障害者雇用安定奨励金のご案内	7
茨城県雇用関係主要指標	8

茨城労働局職業安定部

ホームページアドレス

<http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp>



茨城労働局長

鬼丸良一

この度、7月30日付けで茨城労働局長を拝命しました、鬼丸良一でございます。

私は茨城県で勤務することは初めてですが、皆様には、御指導、御厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

茨城県は、筑波山に代表される山並みや広大な平野、霞ヶ浦をはじめとする多くの湖沼や河川など、豊かな自然に恵まれていることに加え、圏央・北関東自動車道、常陸那珂港、茨城空港、つくばエクスプレス沿線を中心とした新市街地の形成など、非常に魅力に富んだ県であると認識しております。

このような茨城県に勤務できますことを大変嬉しく思い、微力ではございますが、これまでの経験を生かし職務に精励する所存でございますので、よろしくお願いいたします。

さて、県内の経済状況は、一昨年のリーマンショックによる急速かつ急激な景気後退に陥りましたが、財政・金融政策や新興国需要に支えられ、製造業を中心に景気回復の動きに広がりを見せ始めており、緩やかな景気回復が続いております。

この影響を受け雇用失業情勢も、平成21年9月には有効求人倍率が0.37倍まで急激に低下しましたが、平成22年1月から緩やかに回復し、6月の有効求人倍率が0.48倍まで回復してきました。これは、新規求人が製造業を中心に4か月連続、有効求人が2か月連続で増加し、雇用保険受給資格決定件数が7か月連続で減少し、有効求職者も2か月連続で減少するなど緩やかに持ち直しの動きが見られる状況となりました。

このような状況のなか、茨城労働局及び県内のハローワークでは、「平成22年度茨城雇用施策実施方針」に基づき、茨城県との一層の連携協力、市町村並びに関係機関と一層の連携を図りつつ、様々な雇用対策を講じているところであります。

特に、緊急人材支援事業における職業能力開発の推進、若年者雇用対策の推進、高年齢者・障害者の雇用対策などが喫緊の課題となっておりますことから、職員一同全力を挙げて取り組む所存でございますので、皆様の御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、簡単ではございますが着任のあいさつとさせていただきます。



茨城労働局
職業安定部長

熊田 秋 男

この度、7月30日付けをもって茨城労働局職業安定部長を拝命しました、熊田秋男でございます。微力ながら、県下の職業安定等のため最善の努力を尽くしてまいり所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。

また、職業安定行政の業務運営に関しましては、日頃から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、最近の経済市場を巡る状況は、一昨年のサブプライムローン問題から急激に景気後退しましたが、各種政策や新興国等の需要に支えられ、エコ関連や輸出を主体とした製造業を中心に景気が緩やかに回復してきております。

こうした中、労働市場を巡る状況は、昨年9月には有効求人倍率が0.37倍と過去最低となりましたが、今年に入り徐々に回復し6月の有効求人倍率は0.48倍と、緩やかに持ち直しの動きが見られる状況となりました。

これらを踏まえ、労働市場のセーフティーネットとしてのハローワークが、その機能を的確に果たしていくよう雇用のミスマッチ縮小に努めるとともに、求人総量確保のための求人開拓を強化いたします。また、緊急人材支援事業においては、職業訓練の活用と再就職への支援を強化するとともに、新規学卒者等の若年者雇用対策や65歳までの継続雇用や高年齢者の再就職促進、さらに、就職を希望する障害者の雇用促進等に積極的に取り組むことといたします。

また、雇用対策は国と地方公共団体が、その地域の実情にあった機動的かつ効果的な対策を講じることが大変重要であります。

そのため、複雑・多様化する諸問題に対し、地域ニーズを的確に把握するとともに地方公共団体等と連携を一層密にしながら、各種施策に取り組む所存でございます。

最後に、関係各位の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、ご挨拶といたします。

有効求人倍率0.48・雇用情勢は、厳しい状況下にあるものの、ゆるやかに持ち直しの動きが見られる

有効求人数（原数値）は2か月連続の増加

1 概況

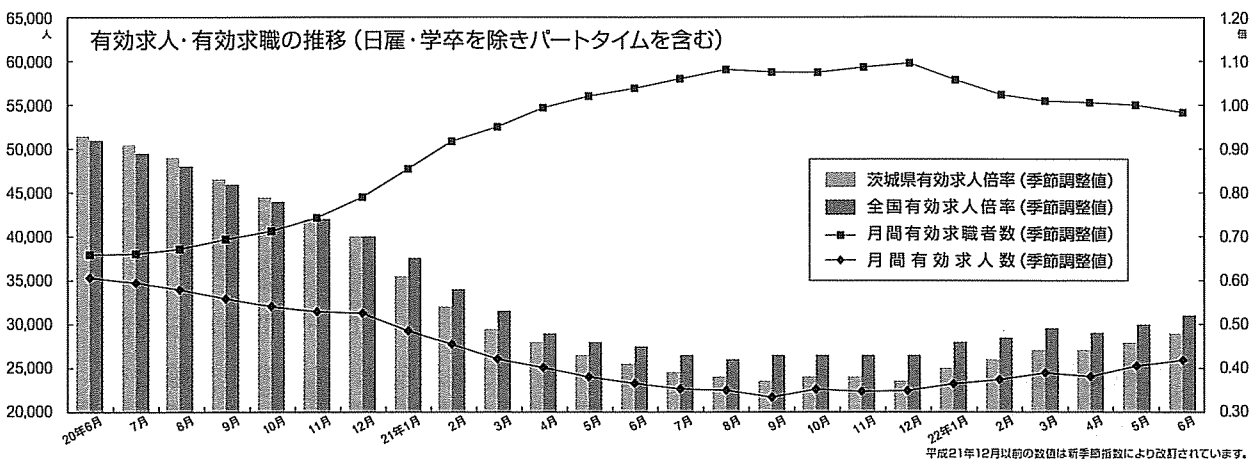
6月の雇用失業情勢をみると、新規求人数は9,956人で前年同月に比較して8.1%増と4か月連続して増加となりました。産業別では、製造業が同73.8%増で6か月連続で増加しました。

新規求職者数は13,686人と同2.1%の減少となりました。雇用形態別に見ると、一般は同3.4%の減少となりましたが、パートタイムは同1.4%の増加となりました。また、パートを含む常用求職者では、若年求職者（34歳以下）が減少し高齢求職者（60歳以上）は同水準となりました。

有効求人数（原数値）は24,505人で、前年同月比で10.7%増と2か月連続で増加となりました。

一方、有効求職者数（原数値）は、57,813人（同5.1%減）と2か月連続の減少となりました。

また、求職者1人当たりの求人数を示す有効求人倍率は、0.48倍（季節調整値）と前月を0.02ポイント上回りました。なお、原数値も0.42倍と前年同月比で0.02ポイント上回りました。



2 新規求人の動き

新規求人数は9,956人となり、前年同月比で8.1%の増加となりました。

産業別にみると、製造業（同73.8%増）、運輸・郵便業（同61.0%増）、宿泊・飲食サービス業（同27.0%増）、サービス業（同4.2%増）、卸売・小売業（同3.6%増）、情報通信業（同3.1%増）、学術研究・専門・技術サービス業（同2.6%増）は増加し、生活関連サービス・娯楽業（同37.5%減）、建設業（同11.2%減）、医療・福祉（同7.8%減）、その他の産業（同6.0%減）は減少しました。

規模別に見ると新規求人数の約半数（54.6%）を占める29人以下（同5.7%増）、500人以上（同112.9%増）、30～99人（同7.8%増）、300～499人（同2.6%増）で増加しましたが、100～299人（同2.2%減）で減少しました。

雇用形態別では、一般常用は前年同月比7.6%増と4か月連続で増加し、パートタイムでも同2.2%の増加となりました。

3 新規求職の動き

新規求職者数は13,686人となり、前年同月比で2.1%の減少となりました。

雇用形態別の割合では、一般が71.6%（前年同月72.6%）と1ポイント下回り、求職者数でも前年同月比で3.4%の減少となりました。

一方、パートタイムは28.4%（前年同月27.4%）と1ポイント上回り、求職者数でも同1.4%の増加となりました。

また、常用（パートタイムを含む）で見ると、新規求職者数のうち、34歳以下の若年者の占める割合は40.9%となり、前年同月（41.3%）を0.4ポイント下回った。若年求職者数では前年同月比で3.0%の減少となりました。

同じく、パートタイムを含む新規求職者数のうち、60歳以上の高齢者の占める割合は11.2%となり、前年同月（11.0%）を0.2ポイント上回り、高齢求職者数では同水準となりました。

4 失業の動き

失業の動きを雇用保険業務でみると、受給資格決定件数は2,969件で、前年同月に比較し27.4%減と7か月連続の減少となりました。また、新規求職者数に占める割合は21.7%と、前年同月（29.2%）を7.5ポイント下回りました。

雇用保険受給者実人員は、13,949人と、前年同月比で31.5%減少（4か月連続の減少）となりました。被保険者資格喪失者のうち事業主都合離職者は725人で、割合で9.2%（前年同月19.4%）となり、事業主都合離職者数では同56.8%減少となりました。

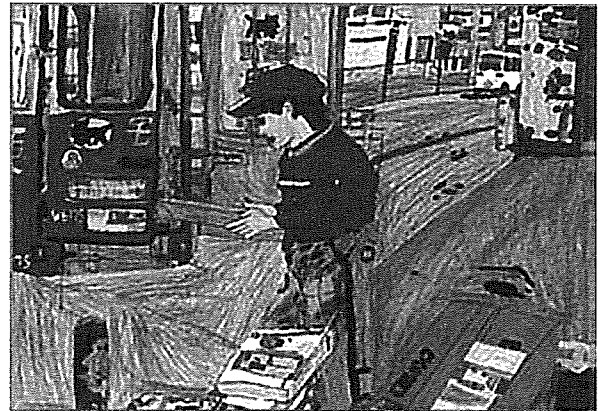
…ごぞんじですか?…

9月は「障害者雇用支援月間」です!

9月は「障害者雇用支援月間」です。

事業主の皆さまのみならず、広く国民の皆様に対して障害者雇用の機運を醸成するとともに、障害者の職業的自立を支援するため、厚生労働省、都道府県雇用開発協会等と協力して、さまざまな啓発活動を展開しています。

ぜひ、この機会に障害者雇用に向けた取り組みをお願いします。



平成 21 年度障害者雇用支援月間入賞

【働く人 新堀 直彬 作】

茨城県立水戸飯富養護学校 3 年

- 月間ポスター原画募集
- 障害者雇用に関する表彰式の開催
- 障害者ワークフェアの開催
- 障害者の雇用の促進と職域拡大のための
職場改善好事例の募集

(独) 高齢・障害者雇用支援機構 厚生労働省 他

障害のある方を対象とした 「就職面接会」を開催します!

障害のある人もない人も同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することのできる社会を目指す「ノーマライゼーション（完全参加と平等）」に沿った社会を実現するため、今年度におきましても、県内のハローワーク（公共職業安定所）を中心に、「障害者就職面接会（前期）」を開催いたします。

現在、面接会に向けて、求人の申し込みを受け付けております。

是非、この機会に「障害者の採用」をご検討いただき、面接会に参加いただきますようお願いいたします。

- ◎ 9月 15日 ホテルレイクビュー水戸 ハローワーク水戸・笠間・常陸大宮
- ◎ 10月 7日 国民宿舎 鵜の岬 ハローワーク日立・高萩
- ◎ 10月 8日 ホテルマロウド筑波 ハローワーク土浦・石岡・龍ヶ崎
- ◎ 10月 14日 鹿島セントラルホテル ハローワーク常陸鹿嶋
- ◎ 10月 15日 結城市民情報センター ハローワーク筑西・下妻・古河・常総

※お問合せは、最寄りのハローワーク又は
茨城労働局職業安定部職業対策課（☎ 029-224-6219）

安全衛生にかかる優良事業場表彰 「旭化成メタルズ」奨励賞受賞!



厚生労働省においては、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業所又は団体、長年にわたり労働安全衛生に尽くし安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功労者に対して、厚生労働大臣表彰を行っております。

本年度は、31 事業場、1 団体及び 41 名を対象に厚生労働大臣表彰が行われました。

茨城県では、「旭化成メタルズ株式会社友部工場」が奨励賞を受賞し、平成 22 年 10 月 5 日に開催される「茨城県産業安全衛生大会」において披露されます。

茨城県産業安全衛生大会

平成22年**10月5日**(火曜日) 13:00~16:45 [開場12:00]

ホテルレイクビュー水戸
水戸市宮町1-6-1 (水戸駅南口より徒歩3分)

第一部 表彰式

第二部 講演

①事例発表……「旭化成メタルズ友部工場の安全活動」

旭化成メタルズ株式会社友部工場

管理室 環境安全担当課長 永原 勝美氏

②特別講演……「実践的なメンタルヘルス対応」

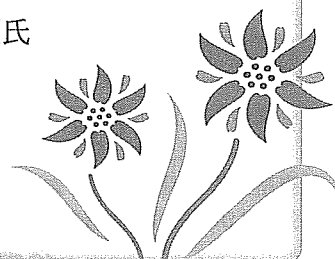
～日常から休職・復職まで～

株式会社日立製作所 日立健康管理センター

産業医 主任医長 中谷 敦氏

主催 社団法人 茨城労働基準協会連合会

後援 茨城労働局・茨城県・その他



●●● 新卒者体験雇用事業のご案内 ●●●

当事業は、就職先が未決定の新規学校卒業者の方を対象に、体験的な雇用機会を設けることにより、就職先の選択肢を広げるとともに、求職者と事業主との相互理解を深め、その後の正規雇用への移行を促進するものです。

※当事業は、平成 22 年度限りの時限措置です。

※体験雇用終了後の正規雇用への移行は、他の雇入れ助成金の支給対象にはなりません。

■ 体験雇用事業の対象者

次の①、②のいずれにも該当する者のうち、正規雇用の実現や雇用機会の確保のためには、体験雇用を経ることが適当であると安定所長が認める者

①平成 21 年 10 月から平成 22 年 9 月末までに卒業した者で、雇入れ開始日現在の満年齢が 40 歳未満の者

②ハローワークに求職登録を行い、就職先が未決定の者

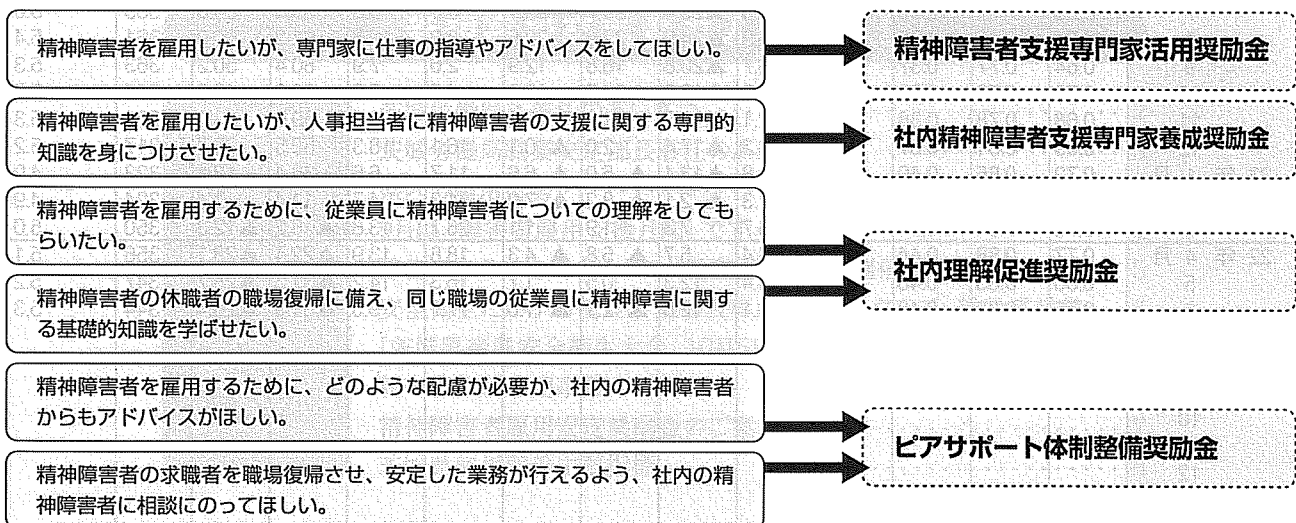
■ 体験雇用の内容

1. ハローワークに体験雇用求人を登録する必要があります。
2. 体験雇用は 1 か月から最長 3 か月の有期雇用です。
3. 体験雇用開始日の日から 2 週間以内に「体験雇用実施計画書」の提出が必要です。
(提出に当たっては、対象者の同意を得る必要があります。)
4. 体験雇用終了日の翌日から起算して 1 か月以内に「体験雇用結果報告書兼新卒者体験雇用奨励金支給申請書」の提出が必要です。
(提出に当たっては、対象者の同意を得る必要があります。)
5. 審査終了後、対象者一人当たり最大 16 万円の奨励金を支給します。

※奨励金の支給にはその他にも一定要件がありますので、詳しくは茨城労働局職業安定課 (029-224-6218) 又はハローワークにお問い合わせください。

精神障害者雇用安定奨励金のご案内

精神障害者の雇用を促進し職場定着を図るため、精神障害者の雇入れや求職者の職場復帰に当たり、精神障害者が働きやすい職場づくりを行った事業主に対する奨励金を創設しました。



※奨励金の支給を受けるには、支給要件となる精神障害者の雇入れ等の前日までに、「精神障害者雇用安定奨励金利用届」を茨城労働局に提出する必要があります。また、様々な支給要件がありますので、詳しくは茨城労働局職業対策課 (029-224-6219) 又はハローワークにお問い合わせください。

茨城県雇用関係主要指標

年・月	新規求人数			新規求職申込件数			月間有効(月平均)		就職件数 全数	雇用保険 受給者 実人員 (基本手当分)
	全数	うち 2次産業	うち 3次産業	全数	うち 若年者	うち 高齢者	求人全数	求職全数		
19年度月平均	13,633	3,776	9,730	10,299	4,731	1,914	37,453	38,772	3,234	9,490
20年度月平均	11,755	2,790	8,888	11,656	5,030	1,258	32,089	42,176	3,115	10,422
21年度月平均	9,406	2,028	7,301	13,517	5,528	1,582	23,122	57,443	3,380	17,086
21年 4月	9,848	2,005	7,758	18,433	7,252	2,690	25,207	59,937	3,368	16,346
5	8,052	1,568	6,397	13,219	5,381	1,587	22,614	59,931	2,906	19,504
6	9,210	1,781	7,314	13,979	5,765	1,535	22,139	60,929	3,314	20,349
7	9,242	1,974	7,214	13,180	5,434	1,438	21,764	60,609	3,363	20,398
8	8,595	1,865	6,650	11,816	4,938	1,289	21,519	59,108	2,968	19,748
9	9,793	2,232	7,472	13,110	5,394	1,351	22,851	57,898	3,500	18,594
10	10,256	2,446	7,755	14,116	5,554	1,646	23,803	58,197	3,686	17,199
11	8,774	2,187	6,509	11,148	4,565	1,273	23,106	55,877	3,416	16,199
12	8,305	1,779	6,467	9,823	3,824	1,197	21,956	51,965	2,998	15,108
22年 1月	9,846	2,127	7,635	14,113	5,792	1,660	22,412	52,728	3,023	14,423
2	10,020	2,196	7,775	13,470	5,646	1,513	24,137	54,021	3,352	13,634
3	10,928	2,181	8,661	15,802	6,786	1,808	25,951	58,115	4,669	13,529
22年 4月	10,185	2,207	7,901	17,369	6,744	2,807	24,383	60,510	4,002	12,687
5	9,214	2,089	7,042	13,287	5,448	1,559	23,722	59,105	3,379	13,406
6	9,956	2,449	7,404	13,686	5,590	1,535	24,505	57,813	3,901	13,949
7										
8										
9										
10										
11										
12										
23年 1月										
2										
3										

年・月	求人倍率(季調値)(倍)				前年同月比増減率(%)								全国完全失業者	
	新規		有効		新規求人		新規求職		就職件数		受給者実人員		実数 (万人)	失業率 (季調値・%)
	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国		
19年度月平均	1.32	1.47	0.97	1.02	▲ 6.5	▲ 9.0	▲ 6.4	▲ 3.7	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 8.2	▲ 2.5	255	3.8
20年度月平均	1.01	1.08	0.76	0.77	▲12.8	▲15.6	13.7	11.7	▲ 3.0	▲ 3.8	11.6	8.3	275	4.1
21年度月平均	0.70	0.79	0.40	0.45	▲19.4	▲17.5	17.7	12.5	8.6	9.1	68.4	43.7	343	5.2
21年 4月	0.71	0.79	0.46	0.48	▲24.6	▲26.5	39.0	28.8	1.9	0.8	100.9	76.3	346	5.0
5	0.67	0.75	0.43	0.46	▲34.2	▲34.5	23.1	14.8	▲ 7.7	▲ 6.6	109.7	70.3	347	5.1
6	0.70	0.78	0.41	0.45	▲20.1	▲22.3	34.6	29.8	4.2	8.6	111.0	78.1	348	5.3
7	0.65	0.77	0.39	0.43	▲29.6	▲23.4	29.7	23.1	3.1	8.5	95.8	64.8	359	5.6
8	0.67	0.75	0.38	0.42	▲26.9	▲24.2	32.6	22.5	8.9	16.5	91.2	60.0	361	5.4
9	0.64	0.77	0.37	0.43	▲25.7	▲20.8	16.6	12.9	2.6	7.9	80.4	50.2	363	5.3
10	0.70	0.78	0.38	0.43	▲17.3	▲18.8	24.7	13.2	4.5	8.9	69.9	43.2	344	5.2
11	0.68	0.78	0.38	0.43	▲22.1	▲13.8	21.6	18.2	20.3	20.8	69.9	43.1	331	5.3
12	0.69	0.81	0.37	0.43	▲19.3	▲17.4	2.0	▲ 0.1	16.1	18.3	50.5	30.7	317	5.2
22年 1月	0.72	0.85	0.40	0.46	▲11.8	▲13.4	▲ 5.0	▲ 6.6	11.7	6.6	36.4	18.1	323	4.9
2	0.78	0.84	0.42	0.47	▲ 7.3	▲ 2.1	▲ 8.2	▲ 7.9	11.3	4.7	11.4	1.4	324	4.9
3	0.76	0.84	0.44	0.49	6.7	7.3	1.9	1.1	26.7	13.8	▲ 6.2	▲12.3	350	5.0
22年 4月	0.77	0.88	0.44	0.48	3.4	5.7	▲ 5.8	▲ 4.3	18.8	13.9	▲22.4	▲23.1	356	5.1
5	0.80	0.83	0.46	0.50	14.4	12.3	0.5	1.7	16.3	14.2	▲31.3	▲28.7	347	5.2
6	0.75	0.88	0.48	0.52	8.1	12.8	▲ 2.1	▲ 1.8	17.7	9.3	▲31.5	▲28.4	344	5.3
7														
8														
9														
10														
11														
12														
23年 1月														
2														
3														

(注) 1. 学卒・日雇を除き、パートタイムを含む。
 2. 新規求職申込件数のうち高齢者欄は、平成20年4月から「60歳以上のパートを含む常用」に対象を変更(20.3月までは、55歳以上のパートを除く常用)
 3. ▲印は減少を示す。 4. 求人倍率と全国完全失業者については月平均。 5. 平成21年12月以前の季調値は季節調整値替えにより改訂されている。